

活動内容

〈 題 〉『自分からできる子』を育てる魔法のことば

学級名 _____ 家庭教育学級

学級担当者 鷺 真奈美

1 学級の組織ならびに学習のねらい及び重点

- ・ 構成員 (主催) 見前南小学校教養部
- ・ 学級の運営組織 教養部長、副部長、部員、家庭教育学級主事
- ・ 学習のねらい・重点: 「ありがとう」「うれしいよ」「そうだね」「たすかるな」など、いつも使っていないと咄嗟に出てこないのが「言葉」。使いこなすための習慣化を身に付ける。
わが子にどんな言葉がけをすればよいか考える。

2 学習計画と活動の状況

回	日時	講話題	講師(職・氏名)	参加人数
1	令和6年 10月16日(水)	『自分からできる子』を育てる魔法のことば	アドラー東北 Encouraging Leader コミュニティカウンセラー 東海林 千秋 氏	PTA 11名 PTA教養部 8名 計19名
		内容	感想など	
		・ワークショップ、演習形式で、主に自分の子を対象にして、どんな時にどんな言葉を投げかけたら、主体的に考え、行動する子に育てられるかを考えた。	・小グループごとに司会者、発表者、記録者を決め、グループで討議し、発表する形式で進んだので、協動的な学びができた。 ・「大事なものは伝え方」「褒め言葉は上から目線の言葉。あなたが頑張ったことが私もうれしい。共感することが大切。」 ・「比べない。他人と比べられてもどうしようもない。」等、大変参考になった。	
2		講話題	講師(職・氏名)	参加人数
		内容	感想など	

3 成果及び今後の課題

- (1) 成果・活動において工夫したこと など
- PTA教養部部長や家庭教育学級主事が、市の地域社会教育促進事業説明会に参加し、自分たちが受講したい講座を選定したことで、参加者も多く集まり、実のある講演会となった。
- (2) 今後の課題
- 来年度も今年度同様に上記説明会に参加し、教養部として自主的に運営できるよう、働きかけていきたい。
- (3) その他、今後の「学びのつどい」の在り方に関すること など
- 特になし。

活動内容

〈 題 〉「情報メディア講座 子どものスマートフォン・インターネット利用を考えよう！」

学級名 家庭教育学級

学級担当者 秋山 藍

1 学級の組織ならびに学習のねらい及び重点

- ・ 構成員 (主催) 見前南地区公民館 (共催) 見前南小学校教養部
- ・ 学級の運営組織 教養部長、副部長、部員、家庭教育学級主事
- ・ 学習のねらい・重点: スマホ・インターネット利用における危険性や課題を知り、安全に賢くネットを活用しようとする意識を高める。
使用上のルールを守ることが自分を守ることにつながることを知る。

2 学習計画と活動の状況

回	日時	講話題	講師(職・氏名)	参加人数
1	令和6年 12月4日(水)	「情報メディア講座 子どものスマートフォン・インターネット利用を考えよう！」	青少年活動交流センター 事業・渉外担当 松崎 俊 氏	4年生 56名 学校関係者 6名 見前南公民館長 1名 計63名
		内容	感想など	
		・児童・生徒のスマホ・インターネットの利用の実態 ・ネットトラブル事例 ・使い過ぎによる症例 ゲーム高額課金 情報流出・いじめ被害の実態 ・保護者の責任	・一度ネットに流出した情報は一生消えない恐ろしさを学んだ。そのためには個人情報やSNSで必要以上に知らせないことが大切。特に、ネット上知らない人には送らないことを徹底させる。 ・何か困ったな、おかしいな、自分だけで何とかしようと思わない。すぐに大人に相談することを徹底させる。	
2	日時	講話題	講師(職・氏名)	参加人数
		内容	感想など	

3 成果及び今後の課題

(1) 成果・活動において工夫したこと など

昨年度同様公民館事業とタイアップし、昨年度開催して非常に役立った内容について、今年度も実施できた。

(2) 今後の課題

できれば来年度以降もこの内容について、4年生児童を対象に実施していきたい。公民館とタイアップして進めたい。

(3) その他、今後の「学びのつどい」の在り方に関すること など

特になし。